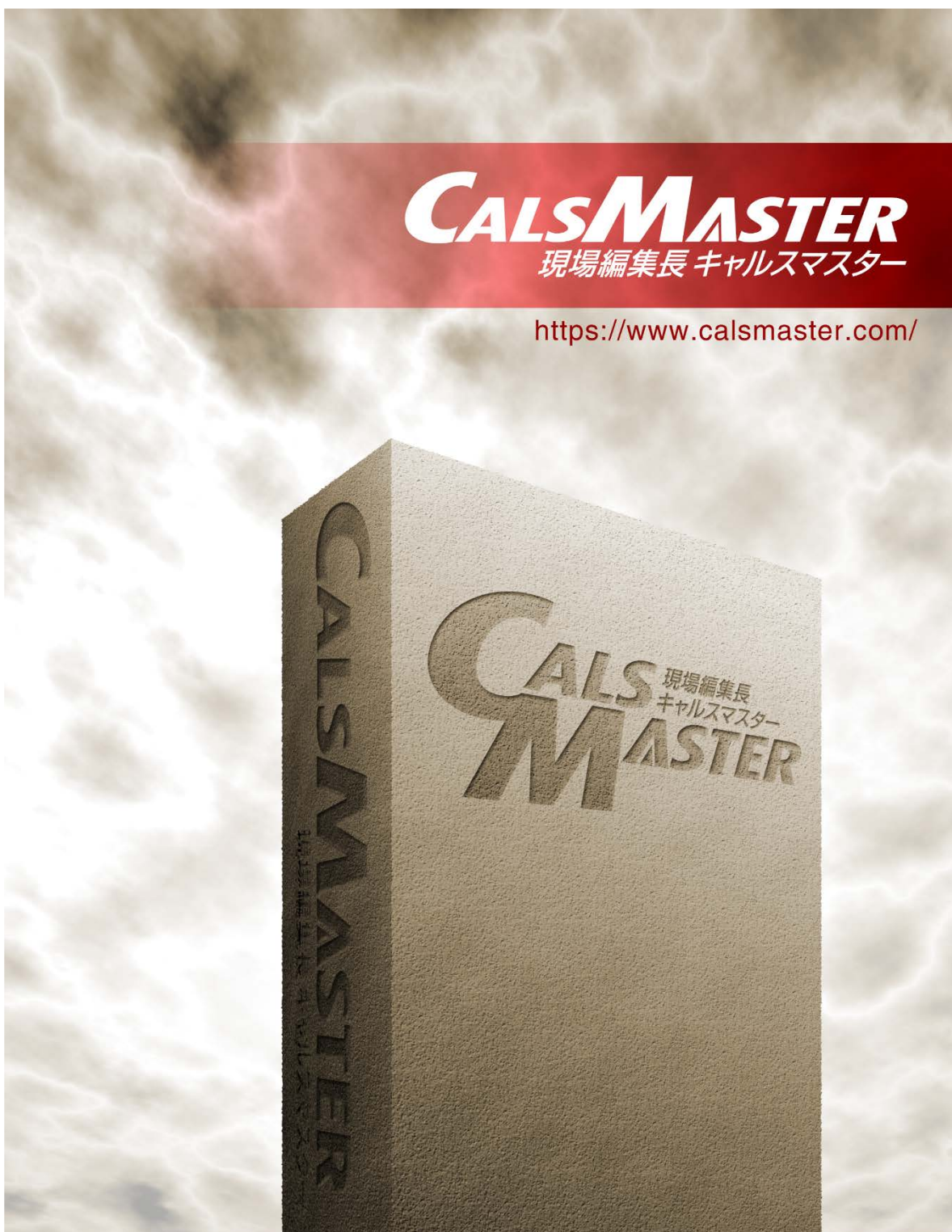


CALSMaster
現場編集長 キャルスマスター

<https://www.calsmaster.com/>



現場編集長CALSMaster

黒板作成ツール(リコー用)マニュアル

はじめに

この度は「現場編集長 CALSMaster」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルは「現場編集長 CALSMaster」（以下、本製品と表記します。）の『黒板作成ツール(リコー用)』（以下、黒板作成ツールと表記します。）の操作方法についてまとめられています。

お使いになる前にご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

著作権・商標

© 2019 DATT JAPAN Inc.

ダットジャパン株式会社 <https://www.calsmaster.com/>

このソフトウェアの著作権は、ダットジャパン株式会社にあります。

※このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用・複製することは、禁止されています。

※このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

目次

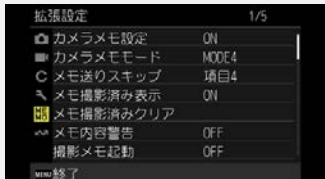
1. 黒板作成ツール	1
1-1. リコーカメラの設定	1
1-2. 黒板を作成する	2
1.2.1. 「黒板作成ツール」ボタンから作成する場合	2
1.2.2. 写真管理ツールの写真箱から作成する場合	4
1-3. 黒板の内容を編集する	6
1-4. 黒板を削除する	13
1-5. 黒板を複写する	14
1-6. 黒板のレイアウトを差し替える	15
1-7. 黒板の情報を一括入力する	16
1-8. 工種階層の名称を変更する	17
1-9. 工種階層を削除する	18
1-10. 黒板をリコーカメラに転送する	19
1.10.1. 黒板データ転送操作	19
1-11. 黒板データの一覧を全階層で表示する	21
1.11.1. 黒板データ一覧を全階層で表示する	21
1.11.2. 黒板データ一覧を絞り込む	22
1-12. 起動時のエラーについて	23

1. 黒板作成ツール

黒板作成ツールとは「RICOH 社製カメラ RICOH G900 及び RICOH G900SE」（以降、リコーカメラと表記します。）で使用する電子小黒板のデータ作成・連携ツールです。以下に使用方法を記載します。

1-1. リコーカメラの設定

写真管理ツールで設定した写真箱へ撮影した写真を自動振り分けするには、事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります。

画面イメージ	メニュー	設定項目	設定内容	説明
	拡張設定	カメラメモ設定	ON	
		カメラメモモード	MODE4	MODE4(XMP モード)を指定します。

また、リコーカメラの対応ファームウェア バージョンは下表の通りです。

機種	ファームウェア バージョン
RICOH G900	1.03 以上
RICOH G900SE	1.04 以上

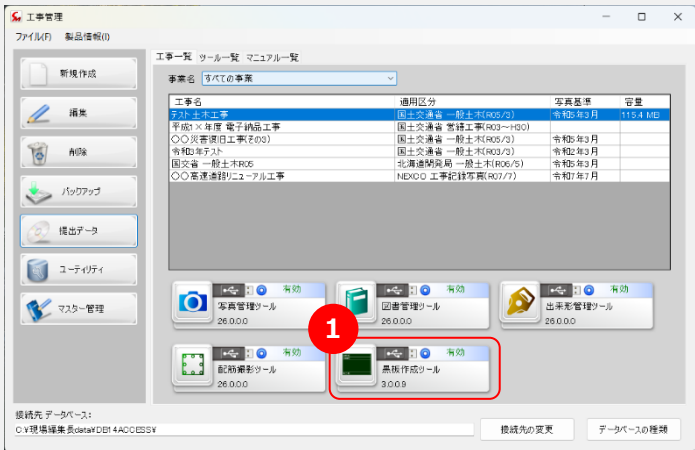
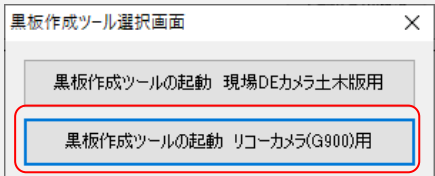
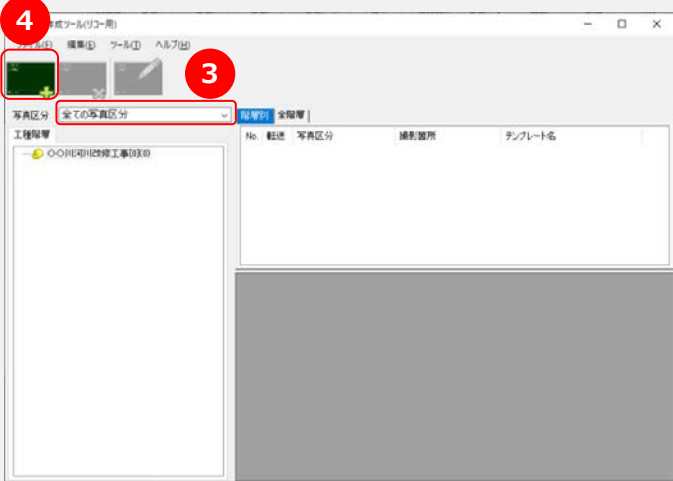
1-2. 黒板を作成する



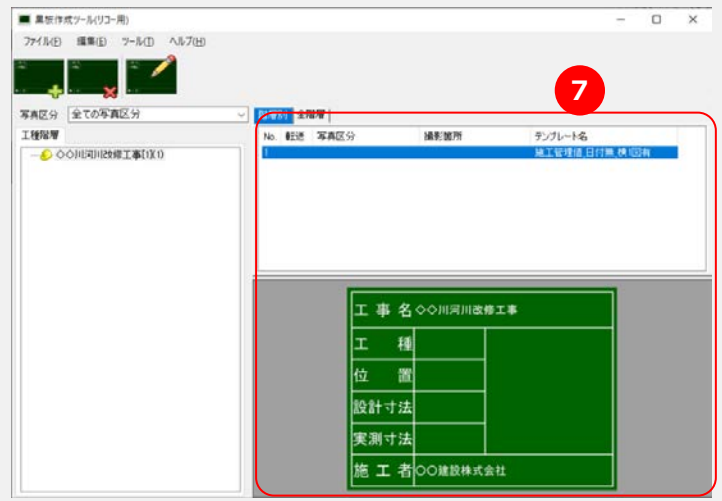
以下の2通りの方法があります。

- ① 「黒板作成ツール」ボタンから黒板作成ツールを起動して作成する方法
- ② 写真管理ツールの写真箱から黒板作成ツールを起動して作成する方法

上記2つの違いについて説明します。


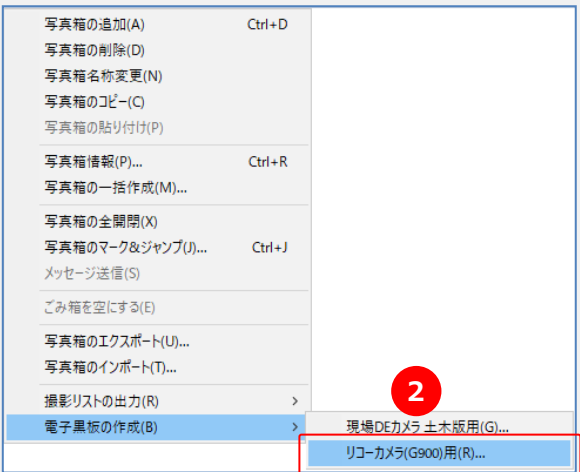
1.2.1. 「黒板作成ツール」ボタンから作成する場合

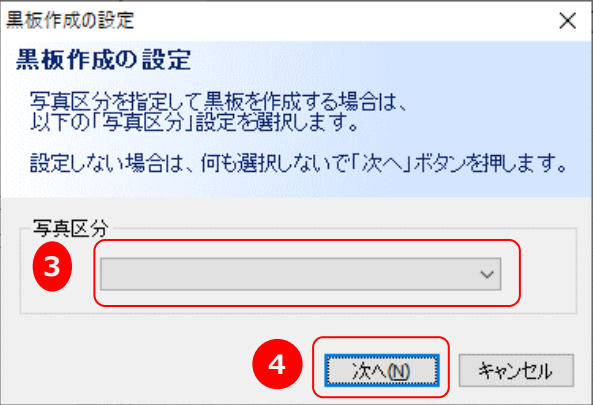
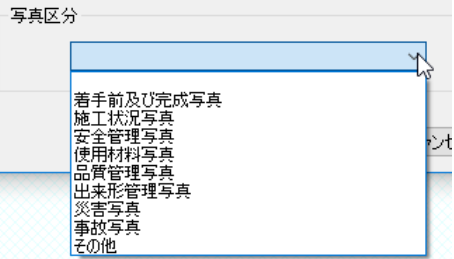
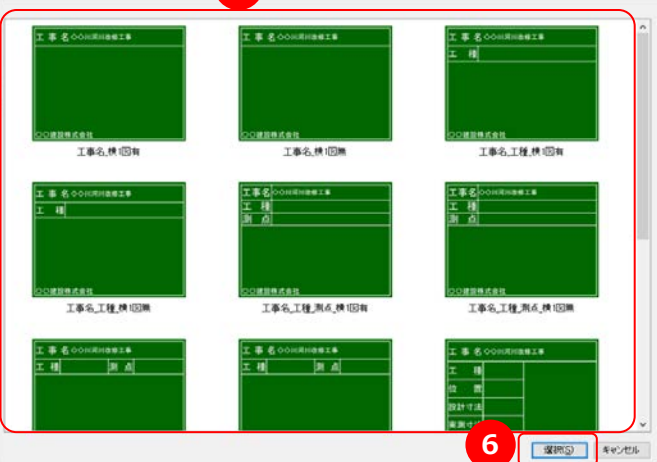
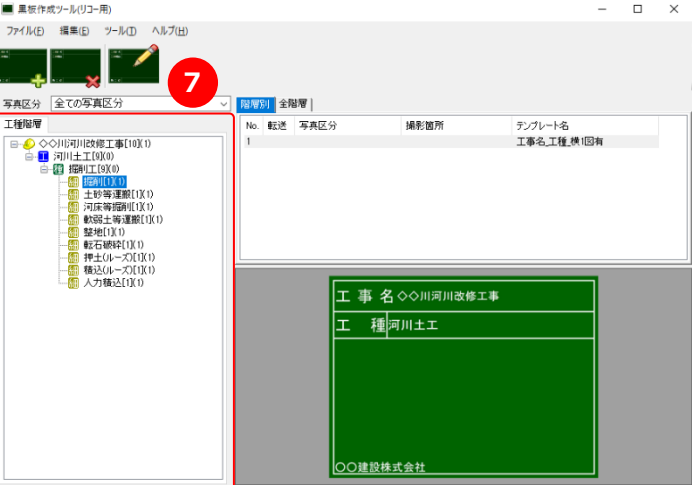
画面イメージ	項目
	<p>① 対象工事を選択後、「黒板作成ツール」ボタンをクリックします。</p> <p>※対象工事の適用区分によっては起動できません。 《起動できない適用区分》 ・営繕工事(配筋連携工事含む)</p>
	<p>② 黒板作成ツール選択画面が起動します。「黒板作成ツールの起動 リコーカメラ(G900)用」をクリックします。</p>
	<p>③ 黒板作成ツール画面が初期状態で表示されます。「写真区分」を選択した場合は、その区分を適用した黒板のみ表示されます。</p> <p>④ 「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。この時、「写真区分」を選択しているとその「写真区分」の黒板が追加されます。</p>

画面イメージ	項目
	<p>⑤ 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。</p> <p>※複数選択はできません。</p> <p>⑥ 「選択(S)」ボタンをクリックします。</p> <div data-bbox="901 481 1050 683">  </div> <p>縦長黒板テンプレート 1 種類が追加されました。</p>
	<p>⑦ 選択した黒板が登録されます。</p> <p>以降は、選択した黒板に詳細情報（適用する工種／種別／細別など）を設定して、必要な黒板を作成します。</p> <p>（詳細は 1-3. 黒板の内容を編集する を参照）</p>

1.2.2. 写真管理ツールの写真箱から作成する場合

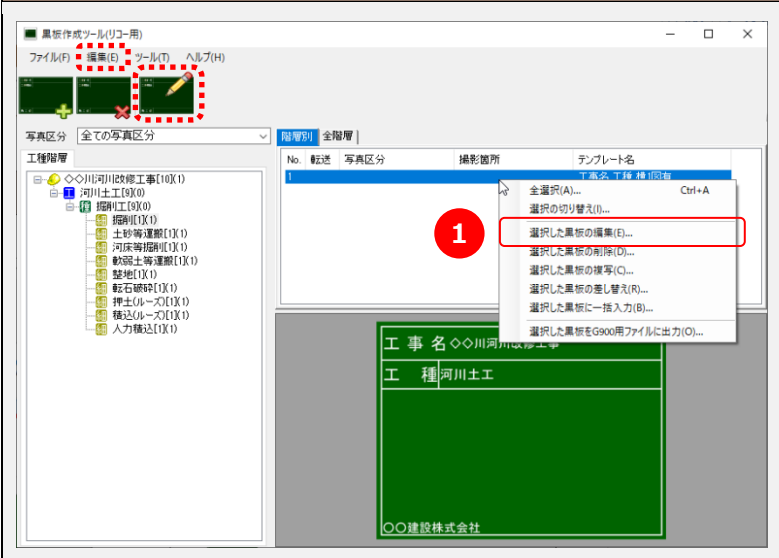

写真管理ツールで作成された写真箱(工種階層)を利用して黒板を作成することも可能です。

画面イメージ	項目
 <p>1</p>	<p>① 黒板データを作成したい工種階層の写真箱を選択します。</p> <p>この時に選択した写真箱以下の階層が黒板データ作成の対象となります。</p> <p>なお、黒板が作成されるのは選択した写真箱にぶら下がる末端の写真箱のみです。</p> <p>例：種別「掘削工」を選択した場合 細別「掘削」から「人力積込」までの黒板が作成されます。</p>
 <p>2</p>	<p>② 階層を右クリックしてメニュー表示し「電子黒板の作成(B)」－「リコーカメラ(G900)用(R)」を選択します。</p>

画面イメージ	項目
	<p>③ 黒板作成の設定画面が表示されます。必要に応じて「写真区分」を選択します。</p> <p>《写真区分の選択肢》</p>  <p>④ 「次へ(N)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑤ 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。</p> <p>※複数選択はできません。</p> <p>⑥ 「選択(S)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑦ 選択した写真箱に対する黒板が作成されますので、選択した黒板に詳細情報を設定します。</p> <p>(詳細は 1-3. 黒板の内容を編集する を参照)</p>

1-3. 黒板の内容を編集する

作成した黒板の内容を編集します。

画面イメージ	項目
	<p>① 編集したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックでメニューを表示し「選択した黒板の編集」を選択すると、「黒板編集画面」が表示されます。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <ul style="list-style-type: none">●  ボタンをクリック●メニューバーの「編集」●表示されている黒板イメージをダブルクリックでも同じ動作をします。

黒板の編集以外に、

- 黒板の複写（作成済みの黒板をもとに他の黒板を作成する場合）
- 黒板の差し替え（使用する黒板レイアウトの変更）
- 黒板の削除
- 黒板の一括入力

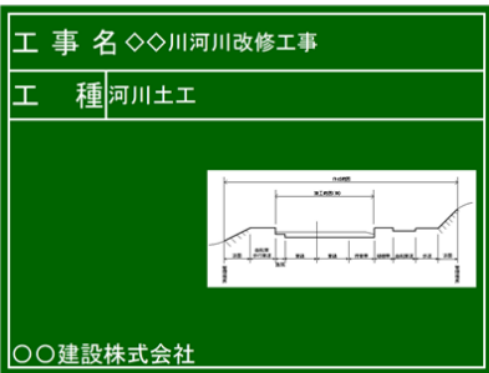
が可能です。

黒板編集画面の構成は以下の通りです。


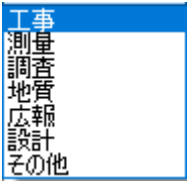
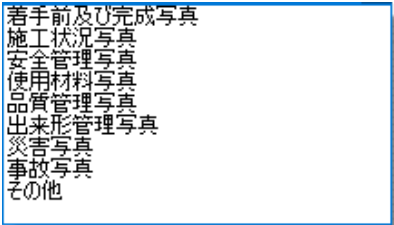
画面イメージ	項目
<p>The screenshot shows a software window titled "一般土木用黒板の編集". It features a large green preview area on the left (A) and a form on the right. The form includes sections for photo classification (B), engineering stages (C), photo information (D), construction management values (E), common items (F), blackboard color (G), and a bottom navigation bar (H).</p>	<p>A 黒板プレビュー部</p> <p>B 写真分類</p> <p>C 工種階層</p> <p>D 写真情報</p> <p>E 施工管理値</p> <p>F 共通項目</p> <p>G 黒板色</p> <p>H 各種ボタン</p>

【画面項目説明】

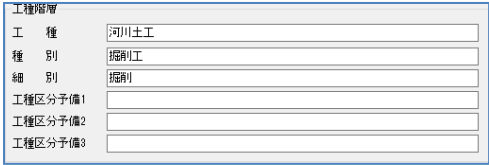
A 黒板プレビュー部

イメージ	項目名	設定内容
		<p>B 以降の各入力部で入力した内容がプレビューに表示されます。(黒板上にある項目のみ表示されます。黒板上にない項目については表示されません。)</p> <p>また、項目の内容をクリックすると入力が可能です。</p>

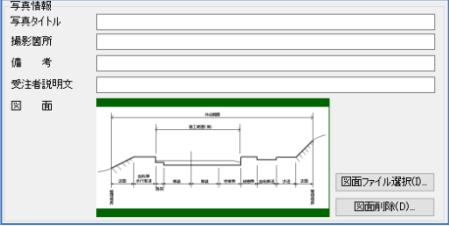
B 写真分類

イメージ	項目名	設定内容
	写真大分類	<p>写真大分類を選択します。</p> <p>設定した内容は写真情報に設定されます。</p>  <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	写真区分	<p>写真区分を選択します。</p> <p>設定した内容は写真情報に設定されます。空白とした場合は、写真管理ツールで設定する必要があります。</p>  <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>

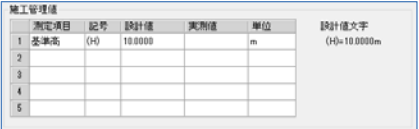
C 工種階層

イメージ	項目名	設定内容
	工種	<p>工種を入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	種別	<p>種別を入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	細別	<p>細別を入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	工事区分予備 1	<p>必要に応じて入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	工事区分予備 2	
	工事区分予備 3	

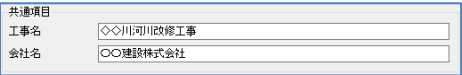
D 写真情報

イメージ	項目	設定内容
	写真タイトル	<p>写真タイトルを入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	撮影箇所	<p>撮影箇所を入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	備考	<p>備考を入力します。入力した内容は、写真情報(撮影情報予備 2)に設定されます。改行はできません。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>
	図面ファイル選択	<p>豆図などの画像ファイルを選択すると、黑板上の画像表示枠内に表示されます。</p> <p>図面プレビューエリアをクリックし[Ctrl]キー+[V]または右クリックし「貼り付け」を押すとコピーしている画像を張り付けることができます。</p>
	図面削除	<p>設定している画像ファイルを削除します。</p> <p>または図面プレビューエリアをクリックし[Delete]キーを押すことでも画像ファイルを削除できます。</p>
	受注者説明文	<p>受注者説明文を入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。改行はできません。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。(事前にリコーカメラの設定を変更する必要があります)</p>

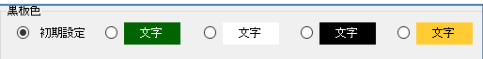
E 施工管理値

イメージ	項目	設定内容
	測定項目	測定項目を入力します。
	記号	記号を入力します。 黒板表示に利用されるため、入力することをおすすめします。 入力された内容は写真情報に反映されます。
	設計値	設計値を入力します。 入力された内容は写真情報に反映されます。
	実測値	実測値を入力することも可能です。 入力された内容は写真情報に反映されます。 ※実際はリコーカメラで写真撮影の際に入力します。
	単位	設計値／実測値の単位を選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> m cm mm m² a ha m³ t kg g </div> 直接入力も可能です。 入力された内容は写真情報に反映されます。


F 共通項目

イメージ	項目	設定内容
	工事名	工事名を入力します。初期は自動で設定されています。 改行はできません。
	会社名	会社名(受注者)を入力します。 工事情報に設定されていた場合は自動設定されています。

G 黒板色

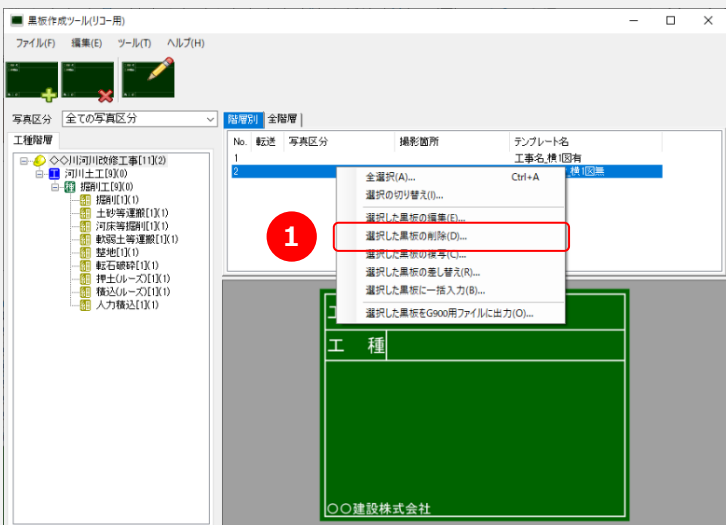

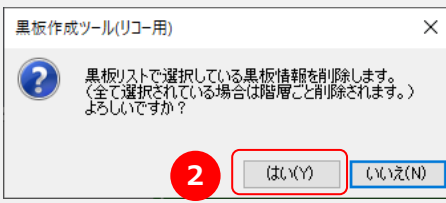
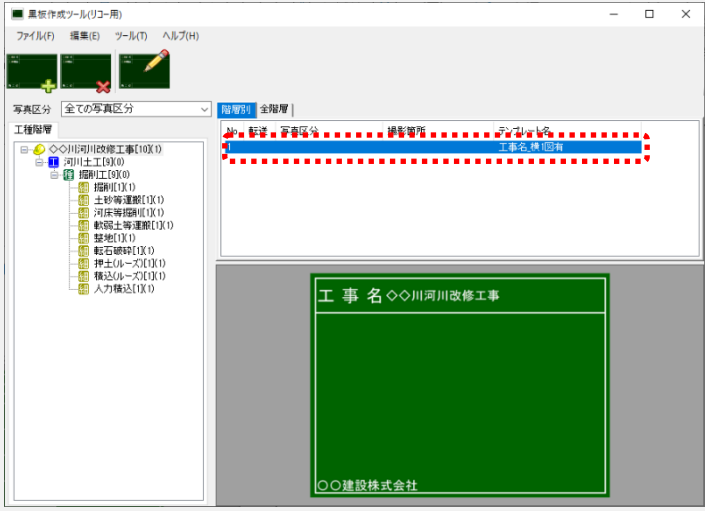
イメージ	項目	設定内容
	初期設定	初期設定の状態に戻します。 パターンは、 文字 です
	文字	背景色と文字色のパターンを選択します。
	文字	
	文字	
	文字	

H 設定、保存ボタン

イメージ	項目	設定内容
	入力可能領域表示	文字入力可能なエリアを黒板プレビュー画面に枠線表示します。
	前へ、次へ	複数の黒板編集時に、編集対象の黒板を変更できます。
	保存	編集した内容を保存します。
	編集終了	黒板の編集画面を閉じます。

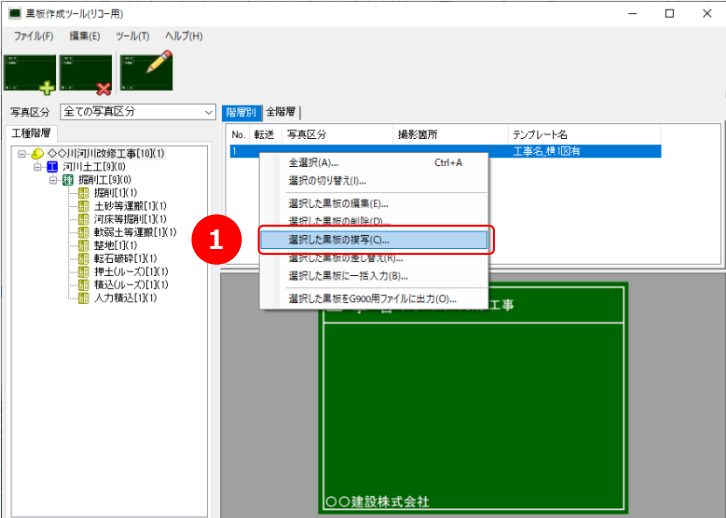
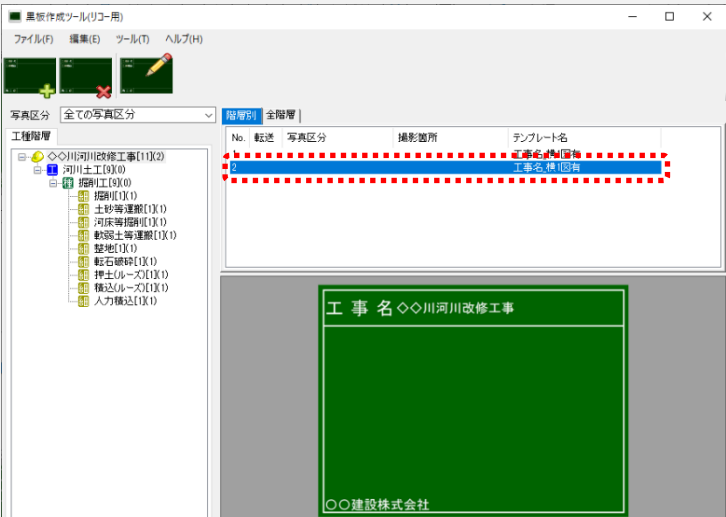
1-4. 黒板を削除する

選択中の黒板を削除します。

画面イメージ	項目
	<p>① 削除したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニュー「選択した黒板の削除（D）」を押します。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  ボタンをクリック ● メニューバーの「編集」 ● キーボードの Delete キーを押す <p>でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 確認メッセージが表示されるので「はい」を押します。</p>
	<p>③ 選択した黒板が削除されます。</p>

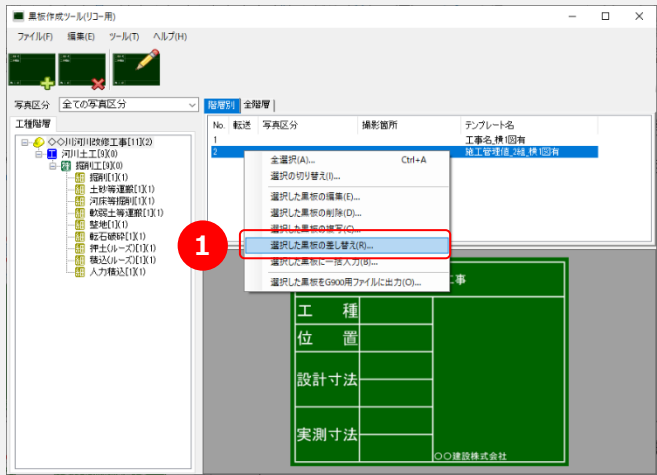
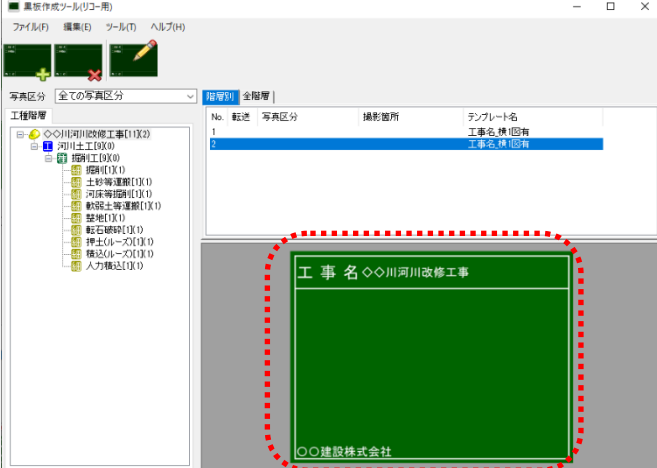
1-5. 黒板を複写する

選択中の黒板を複写します。

画面イメージ	項目
	<p>④ 複写したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニューの「選択した黒板の複写（C）」をクリックします。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <p>●メニューバーの「編集」</p> <p>でも同じ動作をします。</p>
	<p>① 選択した黒板が複写されます。</p>

1-6. 黒板のレイアウトを差し替える


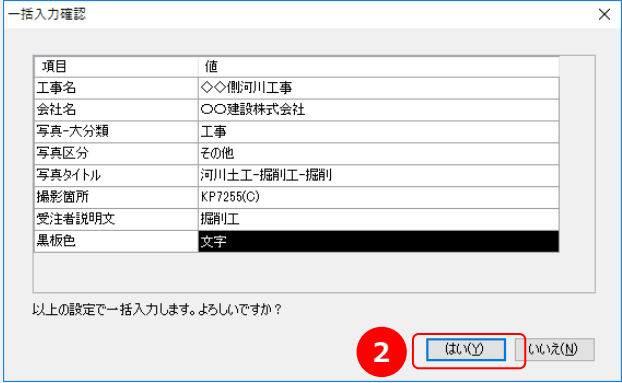
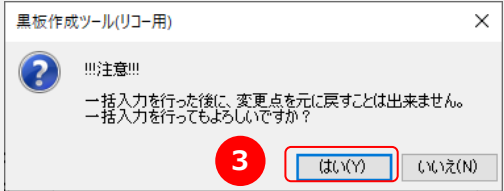
選択中の黒板のレイアウトを差し替えます。

画面イメージ	項目
	<p>① レイアウトを差し替えたい黒板を選択(複数選択可能)し、右クリックメニューの「選択した黒板の差し替え(R)」をクリックします。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メニューバーの「編集」 <p>でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。</p> <p>※複数選択はできません。</p> <p>③ 「選択(S)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>④ 選択した黒板のレイアウトが差し替えられます。</p>

1-7. 黒板の情報を一括入力する




複数の黒板に対して同じ内容の情報を入力したい場合は一括入力機能を使用します。

メイン画面で対象の黒板を複数選択し、「編集(E)」メニューの「選択した黒板に一括入力(B)」または、右クリックメニュー「選択した黒板に一括入力(B)」を実行します。

画面イメージ	項目
	<p>① 一括で入力したい情報を入力後、「適用(A)」ボタンを押します。</p> <p>※工事名、受注者説明文は改行できません。</p>
	<p>② 確認画面で、一括入力する内容を確認し問題が無ければ「はい(Y)」ボタンを押します。</p>
	<p>③ 確認メッセージが表示されます。</p> <p>「はい」を押すと適用されます。</p> <p>「いいえ」を押すと一括入力画面へ戻ります。</p> <p>以上で一括入力は完了です。</p>

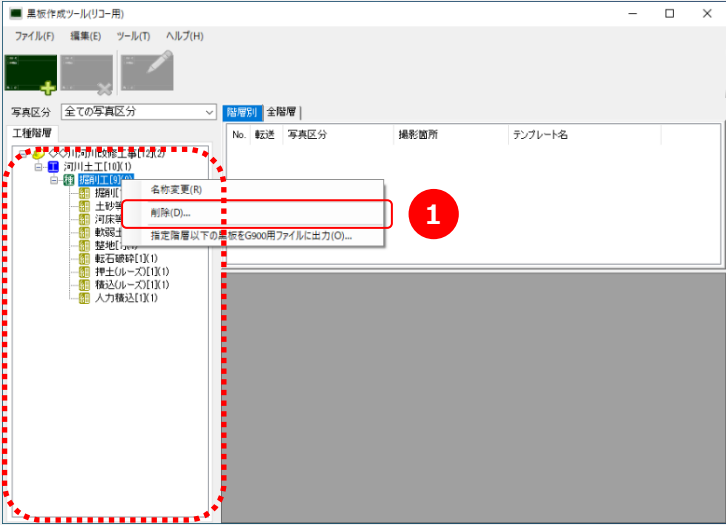
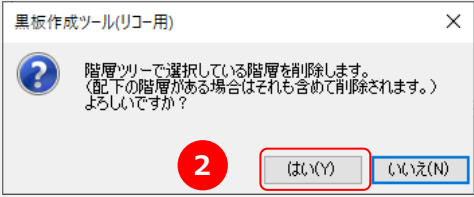
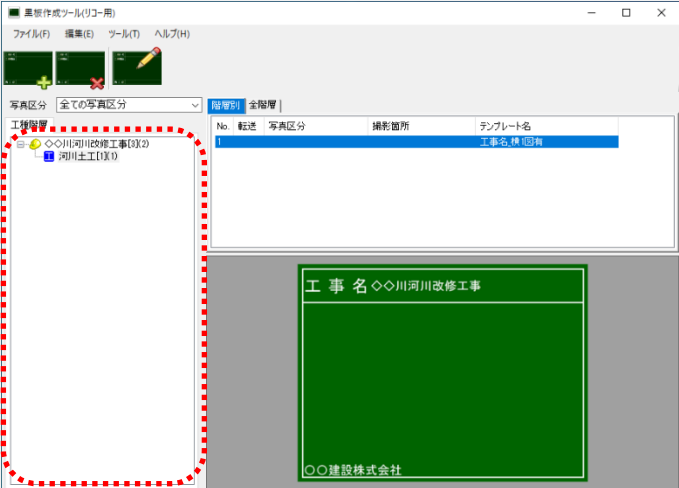
1-8. 工種階層の名称を変更する

選択した工種階層の名称を変更します。

画面イメージ	項目
	<p>① 名称を変更したい階層を選択し、右クリックメニュー「名称変更 (R)」を押します。</p> <p>※工種階層をダブルクリックすることでも同じ動作をします。</p>
	<p>② 工種階層欄が入力可能になります。</p>
	<p>③ 任意の名称を入力し、キーボードの Enter キーを押すまたは、他のエリアをクリックすることで入力が確定します。</p> <p>階層配下のすべての黒板にも反映されます。</p> <p>※空欄・水平タブは入力できません。</p> <p>※キーボードの ESC キーを押すと入力がキャンセルされます。</p>

1-9. 工種階層を削除する

選択中の工種階層ごと削除します。

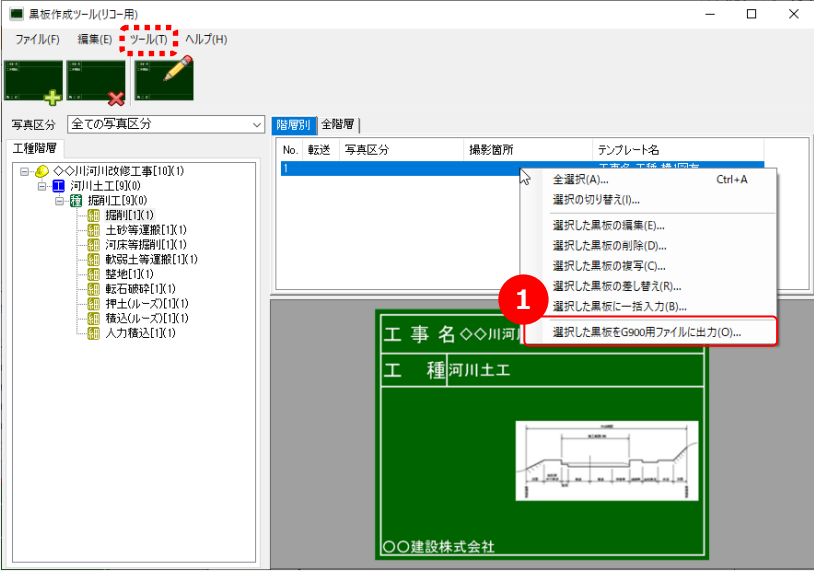
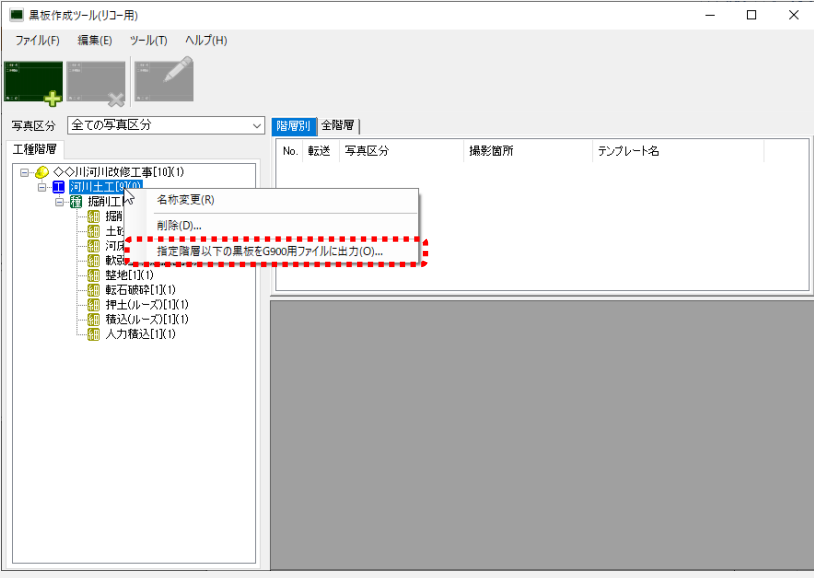
画面イメージ	項目
	<p>① 削除したい階層を選択（複数選択可能）し、右クリックメニュー「削除（D）」を押します。</p>
	<p>② 確認メッセージが表示されるので「はい」を押します。</p>
	<p>③ 選択した階層が配下も含めて削除されます。</p> <p>※選択階層より上の階層に黒板データが存在しない場合は上の階層も削除されます。</p>

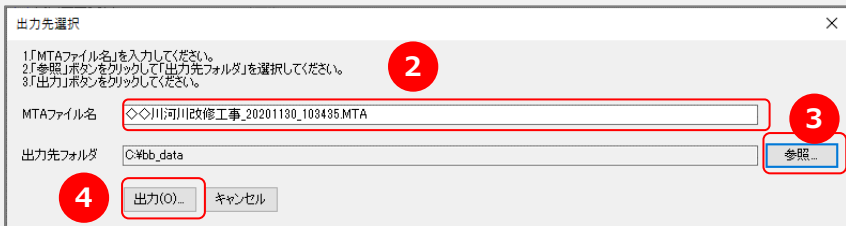
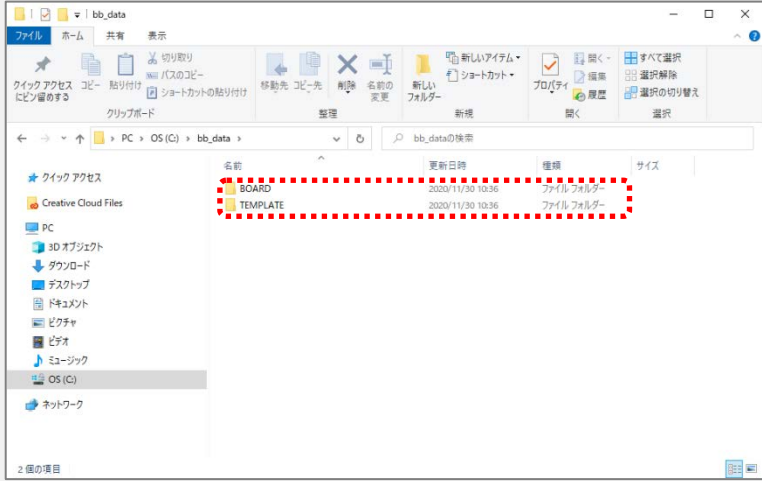
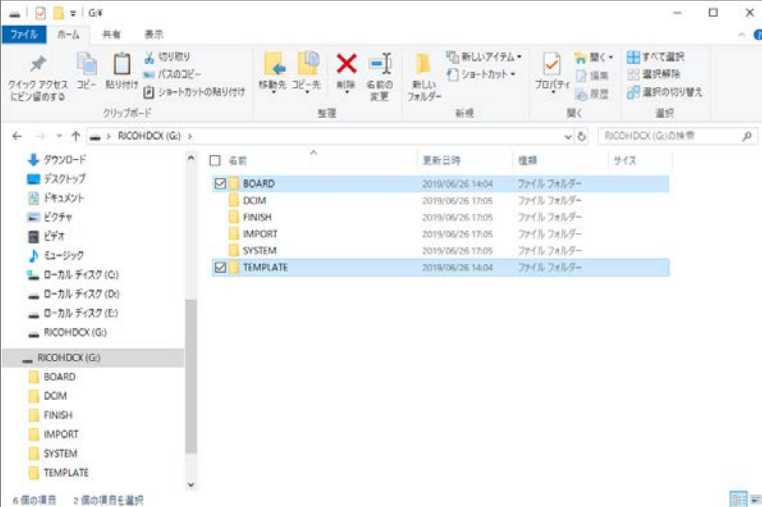
1-10. 黒板をリコーカメラに転送する

作成した黒板データをリコーカメラに転送する方法を説明します。

1.10.1. 黒板データ転送操作

黒板データを転送する場合は、使用する PC とリコーカメラのデータ容量が十分に確保されている必要があります。

画面イメージ	項目
	<p>① 転送対象の黒板を選択して、右クリックでメニューを表示し「選択した黒板を G900 用ファイルに出力(O)」を選択します。</p> <p>※黒板を選択した状態でメニューバーの「ツール」からでも同じ動作をします。</p> <p>※黒板を複数選択することも可能です。</p> <p>※工種階層を選択して、右クリックメニュー「指定階層以下を G900 用ファイルに出力(O)」からでも同じ動作をします。</p>
	<p>工種階層から出力することも可能です。</p> <p>出力したい階層を右クリックしてメニューを表示し「指定階層以下の黒板を G900 用ファイルに出力(O)」を選択します。</p>


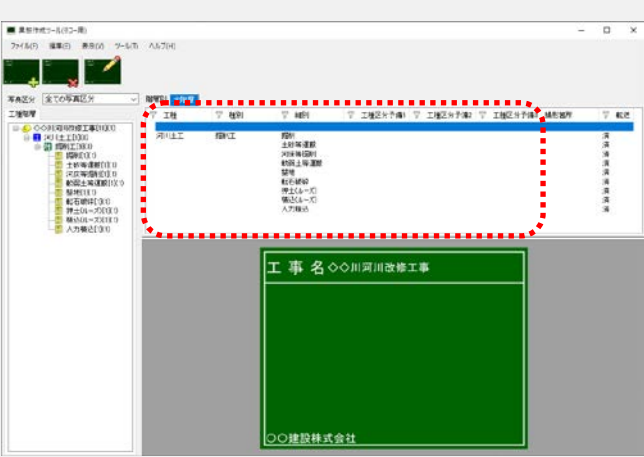
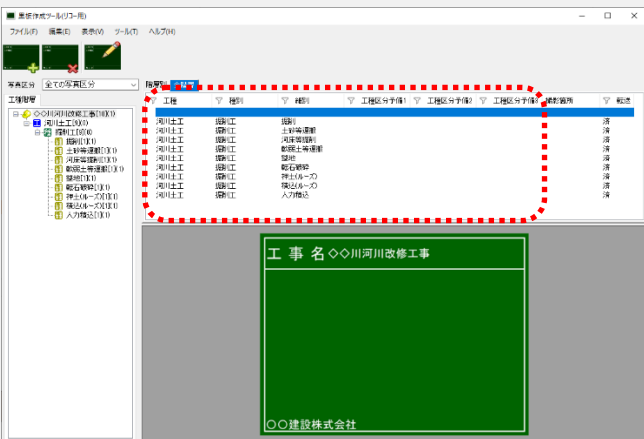
画面イメージ	項目
	<p>② MTA ファイル名を入力します。</p> <p>③ 「参照」ボタンをクリックして出力先のフォルダを指定します。</p> <p>④ 「出力(O)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑤ 出力先に「BOARD」フォルダと「TEMPLATE」フォルダが出力されます。</p>
	<p>⑥ カメラとPCをUSBケーブルで接続して⑤で出力した「BOARD」フォルダと「TEMPLATE」フォルダをカメラへコピーします。</p> <p>以上で黒板データの転送は完了です。</p>

1-11. 黒板データの一覧を全階層で表示する

黒板データの一覧を全階層で表示する方法を説明します。


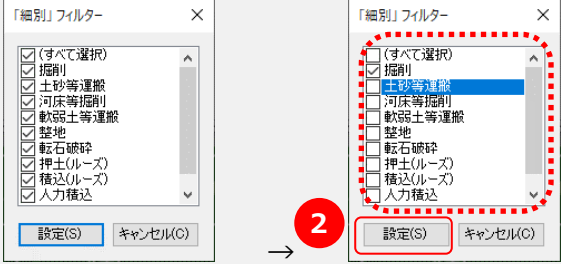

1.11.1. 黒板データ一覧を全階層で表示する

黒板データの一覧は全階層で表示することが可能です。

画面イメージ	項目
	<p>① タブを「階層別」から「全階層」に変更することで黒板データの一覧が全階層表示に切り替わります。</p> <p>※ツールバーの「表示」は全階層タブを選択している状態のときのみ表示されます。</p>
	<p>② 右クリックメニューまたはツールバー「表示」の「同じ階層を表示しない(I)」をクリックすると、一覧に表示されている同じ階層が非表示になります。</p> <div data-bbox="850 981 1182 1240"> <p>全選択(A)... Ctrl+A</p> <p>選択の切り替え(I)...</p> <p>選択した黒板の編集(E)...</p> <p>選択した黒板の削除(D)...</p> <p>選択した黒板の複写(C)...</p> <p>選択した黒板の差し替え(R)...</p> <p>選択した黒板に一括入力(B)...</p> <p>同じ階層を表示しない(I)...</p> <p>選択した黒板をG900用ファイルに出力(O)...</p> </div>
	<p>③ 再度右クリックメニューまたはツールバー「表示」を開くと「同じ階層を表示(V)」に変更されるのでクリックすることで全て表示します。</p> <div data-bbox="850 1469 1169 1720"> <p>全選択(A)... Ctrl+A</p> <p>選択の切り替え(I)...</p> <p>選択した黒板の編集(E)...</p> <p>選択した黒板の削除(D)...</p> <p>選択した黒板の複写(C)...</p> <p>選択した黒板の差し替え(R)...</p> <p>選択した黒板に一括入力(B)...</p> <p>同じ階層を表示(V)...</p> <p>選択した黒板をG900用ファイルに出力(O)...</p> </div>

1.11.2. 黒板データ一覧を絞り込む

全階層表示の時にそれぞれの項目で一覧を絞り込むことが可能です。

画面イメージ	項目
	<p>① タブを全階層表示に切り替え、ヘッダーの列を押すことで絞り込みダイアログが表示されます。</p> <p>※撮影箇所は絞り込み対象外です。</p>
	<p>② それぞれの絞り込みダイアログに絞り込みたい値のみチェックを付けて[設定] ボタンを押します。</p>
	<p>③ 一覧が絞り込まれます。</p>

1-12. 起動時のエラーについて

起動時のエラーについて記載します。

エラーメッセージ	内容
撮影リストの読み込みに失敗した為、起動できません。	不正なデータです。 最新版にアップデートしてください。
CSV の構成が不正です。	不正なデータです。 最新版にアップデートしてください。
古いバージョンの黒板作成ツールです。 最新バージョンの黒板作成ツールでデータを開きな おしてください。 対応する黒板作成ツールのバージョン：{0}	最新版にアップデートしてください。
CSV のバージョンが不正です。 最新バージョンの黒板作成ツールで開きな おしてください。 対応する黒板作成ツールのバージョン：{0}	最新版にアップデートしてください。
旧バージョンの黒板データです。データを変換して開 きますか？ ※変換すると Ver{0}より前の黒板作成ツールで開 けなくなります。	「はい」を押すとデータを現バージョンに更新 します。 以降旧バージョンで同じデータを開くことは できなくなります。 「いいえ」を押すとキャンセルしてツールを 終了します。

現場編集長 CALSMaster
黒板作成ツール(リコー用)マニュアル